事業承継のススメ

～あなたの会社の未来を、後継者と共に拓く第一歩～

プラネット行政書士事務所
代表　行政書士・中小企業診断士
長野利雄

社長様のこんなお悩みにお応えします

- 「いつか事業承継を考えないといけないけれど、何から手をつければいいのか分からない…」
- 「息子（娘）に会社を継がせたいけれど、どう切り出せばいいだろうか？」
- 「従業員に任せるのはどうか？ M&Aも選択肢の一つなのだろうか？」

事業承継の全体像：４つの大切なこと

事業承継とは、単に会社を引き継ぐことではありません。以下の4つの大切な要素を整理し、計画的に進めることが重要です。

1. 誰に（後継者）： 誰に事業を引き継ぐか
2. 何を（引き継ぐもの）： 会社や社長様の何を次の世代に引き継ぐか
3. いつ（時期）： いつまでに事業承継を完了させるか
4. どのように（方法）： どのような方法で事業承継を進めるか

ステップ１：まず「気づき」から始めましょう

- 早期に計画を始めることの重要性
- 事業承継は、通常5年から10年程度の準備期間が必要と言われています。
- 早くから準備を始めることで、様々な選択肢を検討し、最適な方法を選ぶことができます。
- 「まだ先のこと」と思っていると、いざという時に選択肢が狭まってしまう可能性があります。